

2022年9月

『世界の終わりと ハードボイルド・ ワンダーランド』

～ 純文学書下ろし特別作品 ～

村上 春樹

『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』は、1985年に村上春樹が4作目にして初めて書き下ろした長編小説です。第21回谷崎潤一郎賞を受賞した作品でもあります。

とても長いタイトルの小説ですが、『世界の終わりと』と、『ハードボイルド・ワンダーランド』という2つの話が交互に描かれています。そこに、村上作品の特徴の1つであるパラレルワールドが展開します。

かなりの長編ではありますが、村上小説特有の読みやすさに加え、並行した異なるストーリーが次々と展開していくので、あっという間に読み終えてしまうかもしれません。

奇想天外なファンタジーと、深い謎に魅せられたミステリーの2つを結びつけるのは、読み手の役割かと思えます。

やはり、村上の小説は難解でもあります。

まったくの個人的な思いではありますが、『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』は、村上文学の最高傑作と私は思っています。



ストーリー「世界の終わりと」の地図